

市民環境大学OB会 ニュースレター



第27号 2019年7月18日 発行

今年のカルガモ 黒川清流公園大池

定例OB会 立川・国立極地研究所見学会開催！



極地研 南極・北極科学館 全景

環境大学OB会では定例的にフィールドワークとして環境に関する施設見学などを行っています。今回は5月16日の定例OB会の日立川にある国立極地研究所 南極・北極科学館を訪問しました。数年前にも同所の見学会を行いました。当時とメンバーも多少変わり、また地球温暖化もますます進む中で、保存状態のいい極地の状況を勉強することは未来の地球を見通すのに非常に重要な観点で再度の見学会開催となりました。

今回の参加者は10名、玄関で訪問の記念撮影をしたのち館内の見学となりました。以下、最近OB会に新しく参加頂いた睦元さんに訪問記を寄稿頂きましたので紹介します。また写真はOB会員の細川さんに撮影頂きました。

投稿

南極・北極科学館を訪ねて

OB会 睦元 智恵子

令和元年5月16日「日野市民環境大学OB会」10名は国立極地研究所 南極・北極科学館を訪問しました。JR立川駅北口から立川バスに乗り、難しそうな研究所が複数入っている「立川学術プラザ」で下車。長く広いロビーを通り抜け、有名なタロー・シローたちカラフト犬像が待つ「南極・北極科学館」に向かいます。

各ブースの説明映像、重機のような大きな調査機器、金属の塊のような隕石、南極海に住む大型魚類「銀むつ」などが展示されています。調査隊員の防寒着や何万年か前の空気を含んでいる(らしい)氷を触りながら密かに「ほー」「へー」。この南極の氷をかき氷にすると幾らになるだろうと素敵なことをいうOB会員も。

南極大陸の地形は凸、北極は海底に凹みがある地形に地球の不思議を実感。北極圏域の気象観測により日本に来る台風の進路予報の精度が大きく向上したようです。

1910年の南極探検隊、1956年第1次南極観測隊にはじまり、現在は第60次の観測隊。31名が生物や石、隕石、水、大気などを観測調査・研究するため平成31年2月から令和2年2月まで科学基地に赴任。基地設備は衛星電話、床暖房の個室、毎日入れる風呂、水洗トイレが完備され快適な職場環境との説明でした。しかし、隊員の屋外写真を見ると白く凍った長いまつ毛に赤い顔、氷雪だらけの隊員服、厳しい極地環境を想像します。

こうした南極・北極における極地観測は過去、現在、そして未来の地球環境を考えることに大きく貢献していることを学びました。

ここは入館料無料、広い屋内休憩スペースもあります。研究所ロビーには触ることができる江戸時代の本もあり、静かに未知の世界に浸りたい方にお勧めです。



玄関で参加者の記念撮影



南極 昭和基地とオーロラ
(国立極地研究所パンフレットから)

[OB会コラム]

OB会 田中さんは環境問題にとくに強い関心をお持ちで、この度、程久保川周辺のテクテクマップを作成されましたので紹介します。紙面の制約上マップが縮小され鮮明な全体像をお伝えできないのが残念ですが詳しくは田中さんのホームページ

URL : <http://kurokawa.eco.coocan.jp/> (黒川清流公園徒然雑記) でご覧いただけます。

投稿

「程久保川上流、中流マップ作成にあたって」

OB会 田中 徹

日野市は湧水、河川、用水など非常に水に恵まれた町です。

日野用水開削450年が過ぎましたが今も用水、湧水については様々な催し、取り組みが行われています。しかし日野市で唯一水源をもつ1級河川である程久保川周辺は埋もれた宝のようにいまいち着目されていないように感じていました。

2017年、環境基本計画推進会議みどりグループが環境セミナー「みどりと水の原風景 みてみて！程久保川」を実施したのも程久保川と周辺の価値観を認識し少しでも光を当てようとした取り組みでした。自然豊かで里山の原風景が残っており歴史的、文学的、地質的にも面白く、まだまだ沢山、潜在価値が埋もれているような気がします。中流下流の直線化、コンクリート護岸、その他、河川管理の課題も感じられます。

このような気持ちから今の程久保川を見直し今後の程久保川を考えるうえで少しでも参考になればと思いマップを作成しました。豊かな自然と調和した清流の程久保川を次世代に残せるよう心から願っています。

2018/09/30記

日野市唯一の水源をもつ1級河川《程久保川》みどりと水の原風景が残る上流&中流テクテクmap

MAPひとことメモ 上流コース(動物公園駅⇨動物公園駅・約2.5km)
中流コース(高橋不動駅⇨動物公園駅・約4km) 単独でも両コース
含むせても添えます。オプションコースもあります。

① 程久保川・長さ5.5km 日野市に水源がある唯一の1級河川。水源は標高
155m程久保・池ヶ谷。程久保地区の急勾配の谷筋を一気に下り落川で
浅川、多摩川に合流。上流は小川、畑、雑木林など里山風景が残る。上流
は自然遊床が残る。中流、下流は洪水対策のため堤も多く三浦護岸。

② 都立多摩動物公園(オプションコース)
開業1958年、面積60ヘクタール
来園者ゴールデンウィークには約3万人。
動物園のもう一つの楽しみ方は植物観
覧。129科619種、稀少種19科27種の植物がある。

③ ナメタを見よう、地質を学ぶ。
二枚岩層が川底に
露出。青灰色の
地質で青ナメと呼
ばれる。約130万
年前に形成。
程久保川は川底に
二枚岩層が露出。
二枚岩層は川底に
露出。青灰色の
地質で青ナメと呼
ばれる。約130万
年前に形成。
程久保川は川底に
二枚岩層が露出。

④ 程久保川に沿って雑木林を歩く ④⑤⑥
程久保地区は日野市有数の自然地域。四季折々の
自然観察(樹木・野草・野鳥・昆虫)に最適。
程久保川をたどって里山の原風景が眺められる。

⑤ 程久保川に沿って遊歩道を歩こう。
土の遊歩道は日野市が整備(昭和40年代)。コナラ、クヌギ、ウメトドなど雑木林の樹種やサクラ
が植栽。カフェにも見えるかも。津波風俗橋で水辺
の植物ミヅグリがある。三番コンクリート護岸。魚が上れ
ない、水の汚れなど課題もある。

⑥ 程久保川に沿って遊歩道を歩こう。
土の遊歩道は日野市が整備(昭和40年代)。コナラ、クヌギ、ウメトドなど雑木林の樹種やサクラ
が植栽。カフェにも見えるかも。津波風俗橋で水辺
の植物ミヅグリがある。三番コンクリート護岸。魚が上れ
ない、水の汚れなど課題もある。

黒川清流公園徒然雑記 <http://kurokawa.eco.coocan.jp/> T.tanaka (2018/09 作成)

OB会メンバー 活動イベントニュース

- 公益信託 遠藤記念三多摩自然環境保全基金の助成金の申請が通り、給付が決定した。
- 第16回身近な水環境の全国一斉調査に今年も参加。(6月2日)
- 第83回NO2全都いっせい測定に参加。(6月6日~7日)
- 真堂が谷戸のホタルの鑑賞会参加。(6月15日~23日)

OB会 輪読報告 資料 朝日新聞社 2019.5.13社説 “生態系の保全 地球の悲鳴が聞こえる”
6月のOB会では上記朝日新聞の社説を題材にして意見交換した。